

第56回中央委員会

2023春闘スタート/

# 春闘要求実現に向け**団結して頑張ろう!**

～組合員が安心してくらせる環境を勝ち取るために～

1月17日、都内ホテルで第56回中央委員会を開催しました。

当日は、新型コロナウイルスの感染対策を講じた上で開催し、中央委員56名にご参加いただきました。

冒頭、勝田中央執行委員長は「生保産業を取り巻く環境は、長引くコロナ禍の影響で大きく変化していることに加え、足元の物価高等により、組合員の活動や生活は圧迫されており、今春闘に対する組合員からの期待は大きく高まっているものと認識している。『人への投資』を積極的に進めることで、組合員のみなさんの仕事への意欲や働きがいの向上をはかり、生産性向上につなげていく必要があると考えている。生保労連は、組合員が新たな一步を踏み出し、確かな未来につなげるべく、この2023春闘を『未来に向けてのターニングポイントにする』という、確固たる決意を持って取り組んでいく」と力強い決意を述べました。

また、来賓として電機連合・神保中央執行委員長にご臨席いただき、連帯と激励のご



▲2023春闘への力強い決意を述べる  
勝田委員長

挨拶をいただくとともに、支援議員のみなさんからの激励の挨拶・メッセージ等を披露しました。

## 「総合生活改善闘争・春季方針」を決定

昨年8月の定期大会以降の活動経過報告等を確認した後、「総合生活改善闘争・春季方針」（以下参照）を審議し、活発な質疑応答を経て承認されました。（質疑応答内容の一部を2面で紹介しています）

また、「組合員を後押しする積極的な『人への投資』を求める特別決議」を採択し、要求実現に向けて総力を挙げて取り組むことを確認しました。

特別決議文詳細は生保労連HPをご覧ください→



## 「従業員のウェルビーイング」をテーマにセミナーを開催

中央委員会終了後は、組織・人事コンサルタントの加藤守和氏を講師に迎え、「従業員のウェルビーイングを高めるにはどうすれば良いか」と題したセミナーを開催しました。（セミナーの詳細については次号で紹介します）



▲特別決議を提案する  
宮内副委員長